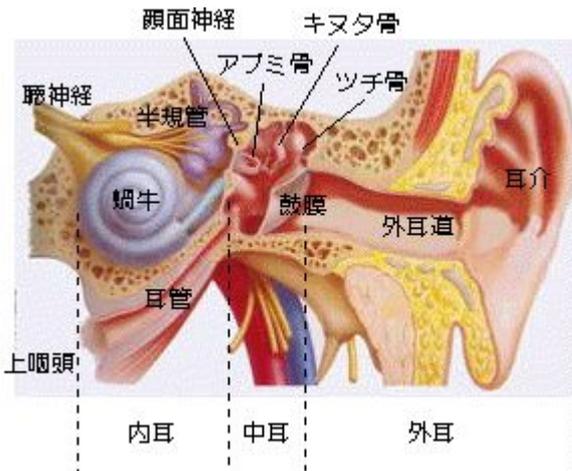


# 耳と鼻の構造

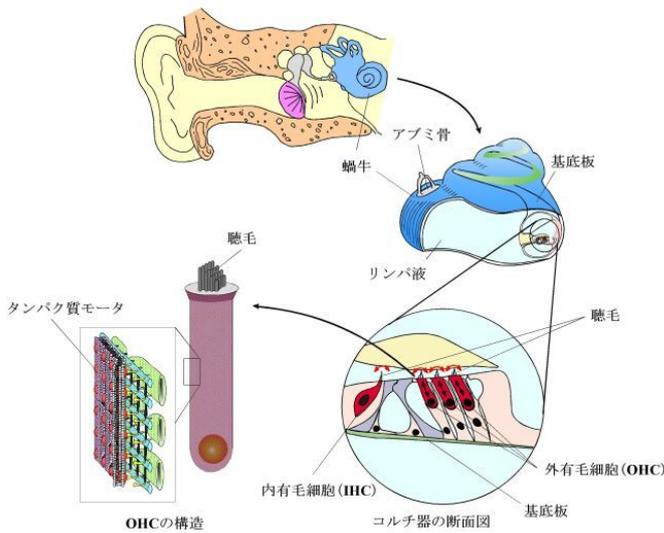


耳は、大きく分けて外耳、中耳、内耳の三つの構造から成り立っています。

**外耳**：外耳は耳介および外耳道からなっています。

**中耳**：中耳は鼓膜、耳小骨（ツチ骨、キヌタ骨、アブミ骨）からなる中耳伝音系と、中耳腔（鼓膜の裏の空気が入った腔）・乳突腔（耳の後ろにある骨の内腔）があります。中耳伝音系は、音としての空気の振動を、蝸牛内の外リンパ液に効率よく伝える役目があります。

**内耳**：内耳には、蝸牛（音を感じ取る器官）と前庭・半規管（平衡感覚を制御する器官）にわけられます。



鼻と中耳は耳管でつながっている為、中耳内の圧不均衡により鼓膜を圧迫され痛みを感じる。これを中耳のスクイズという。

鼻をつまんで中耳に息を吹き込むバルサバ法や、唾を飲み込む

あごを大きく開くなどして、中耳孔を開く方法で予防ができる。

痛くなる前に行うほうが、簡単に抜けやすい。

痛みを我慢したまま加圧・減圧を行うと中耳・内耳を損傷する恐れがあるため、絶対に我慢しない事。

## 副鼻腔 (ふくびくう)

1

上顎洞(両側のほおの部分にある)

2 篩骨洞(両目の間にあり,蜂の巣のように複雑な小さな洞穴からできている)

3 前頭洞(額のところにある)

4 蝶形骨洞(鼻の奥の一番深いところにある)

この洞穴は(副鼻腔)本来の鼻の中に出口があってそれぞれ鼻と交通しています。鼻内副鼻腔開口部(自然孔)といいます。

この副鼻腔の炎症を副鼻腔炎といいます。炎症を起こすとこの副鼻腔開口部が炎症により閉塞することにより圧外傷・スクイズが発症します。

## 洞 (骨の中の空洞)

